具体的な一連の雇用管理に関する援助の業務または実務の経験

		法人としての経験	事業運営責任者の経験	事業実施者の経験
経験年数等	①氏名			
	② 経験年数	11　年	11　年	25　年
	③　障害種別の経験		☑身体障害 ☑知的障害 ☑精神障害	☑身体障害 ☑知的障害 ☑精神障害
障害者の一連の雇用管理の援助に関する業務又は実務の具体的な経験	① 経営陣の理解促進	都道府県、経済団体および関係機関主催のセミナー登壇依頼にお応えし、障害者雇用の意義やメリットについてお伝えしてきました。 当社障害者雇用の取り組みは書籍や経済誌で紹介されました。	障害者雇用推進責任者として左記業務に従事。 また、雇用率未達成企業からのご相談に対し、窓口として対応。	企業在籍型ジョブコーチとして左記業務に従事。 令和3年より「雇用管理サポーター」として他社様への支援実績多数。
	② 障害者雇用推進体制の構築	当社障害者雇用開始時から定着化、さらなる雇用拡大に向け課題と向き合い、体制構築を図ってきました。 平成30年障害者雇用優良事業所滋賀県知事表彰受賞。令和3年もにす認定取得。	障害者雇用推進責任者として左記業務に従事。 また、雇用率未達成企業からのご相談に対し、窓口として対応。	企業在籍型ジョブコーチとして左記業務に従事。 令和3年より「雇用管理サポーター」として他社様への支援実績多数。
	③ 社内での障害者雇用の理解促進	従業員に対し障害の理解、障害者雇用の意義から職場でのかかわり方まで社内研修を継続して開催してきました。 また企業在籍型ジョブコーチを配置し、職場巡回時に理解促進に努めています。	障害者雇用推進責任者として左記業務に従事。	企業在籍型ジョブコーチとして左記業務に従事。 令和3年より「雇用管理サポーター」として他社様への支援実績多数。
	④ 当該事業所内における職務の創出・選定	障害者の特性を理解し、職場の中でマッチングする職務の創出・選定を行ってきました。 また増員を見据え、常に配置可能な職務の洗い出し、新しい業務への習熟にも取り組んでいます。	障害者雇用推進責任者として左記業務に従事。	企業在籍型ジョブコーチとして左記業務に従事。 令和3年より「雇用管理サポーター」として他社様への支援実績多数。
	⑤ 採用・雇用計画の策定	当社障害者雇用開始時より事業計画に基づき、採用・雇用計画の策定を行ってきました。	障害者雇用推進責任者として左記業務に従事。	企業在籍型ジョブコーチとして左記業務に従事。 令和3年より「雇用管理サポーター」として他社様への支援実績多数。
	⑥ 求人の申込みに向けた準備など募集や採用活動の準備	就労支援機関、特別支援学校および地域ハローワークと連携し、障害者雇用の人材募集活動を行ってきました。 また当社採用計画にかかわらず実習希望者を受け入れ、障害特性や適性把握の支援を行っています。	障害者雇用推進責任者として左記業務に従事。	企業在籍型ジョブコーチとして左記業務に従事。 令和3年より「雇用管理サポーター」として他社様への支援実績多数。
	⑦ 社内の支援体制等の環境整備	企業在籍型ジョブコーチを配置し、速やかに対応できる支援体制を整備するほか、上記研修での理解促進や巡回時での聞き取り、アドバイスによって職場メンバーの対応力向上に努めてきました。	障害者雇用推進責任者、障害者雇用生活相談員として左記業務に従事。	企業在籍型ジョブコーチとして左記業務に従事。 令和3年より「雇用管理サポーター」として他社様への支援実績多数。
	⑧ 採用後の雇用管理や職場定着等	長期就労実現に向け、成長にフォーカスしながら、社内の理解促進と障害者が働きやすい職場環境の整備に努めてきました。 関係機関とのネットワークを構築し、課題発生の際には連携して解決への手立てを検討しています。	障害者雇用推進責任者、障害者雇用生活相談員として左記業務に従事。	企業在籍型ジョブコーチとして左記業務に従事。 令和3年より「雇用管理サポーター」として他社様への支援実績多数。

※事業運営責任者または事業実施者を複数名登録する場合は、２名以降の経験については別紙へ記載してください。

※（表面）1で、「対象障害者の一連の雇用管理に関する援助の業務についての実績を有する法人」を選択した場合は、下記の各項目について記載してください。

【過去３年間における実績】

●援助の件数

●支援業種

●具体的な支援内容